

軽井沢オープンドアスクール スクールコンセプト（最終案）

- ・学校に通えないなどの理由により、学校生活において様々な学びを十分に享受できていない学齢期の子どもたちや外国籍・外国由来の人たち、十分に享受できなかった学齢経過者が集い、教員や支援員など信頼できる大人とともに、それぞれのペースや空間で安心して学び、成長を実感できるインクルーシブでフレキシブルな学びの場を創造
- ・加えて既存の公立学校が子どもたちや保護者にとって、より魅力的な学びの場となるよう、設置するオープンドアスクールの理念や仕組み、学校文化や学校風土などの特長を積極的に導入

1 設置形態

- ・「学びの多様化学校」と「夜間中学」を併設した新たな学びの場
- ・軽井沢町立軽井沢中学校の分校として設置

2 対象生徒

- ・様々な事情で学校への登校が困難な生徒（不登校の子どもたち）
→ 軽井沢中学校在籍者（又は在籍予定者）を想定
- ・学齢経過者のうち、さまざまな理由により中学校で十分に学ぶことができなかった方
- ・日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍又は外国由来の方
→ 軽井沢町だけでなく近隣市町村在住者も想定

3 設置場所

- ・町内の既存公共施設（必要な範囲で改修等を行い使用）
→ 軽井沢高等学校の北校舎

4 学びの姿

- ・自分のペースで学ぶ
- ・自分らしさを大切にしながら学ぶ
- ・自分の決めた方法で学ぶ
- ・体験的に学ぶ
- ・自分に合った時間帯で学ぶ
- ・多様な人とまじりあって学ぶ
- ・自分の学びたいことを多く学ぶ
- ・探究的に学ぶ

5 生活の姿

- ・ありのままでいられる場所
- ・くつろいだり遊んだりできる場所
- ・必要なことは自分たちで話し合って決定
- ・安心できる居場所
- ・十分に対話や雑談をする時間
- ・周囲に頼れる大人の存在

6 教職員

- ・展開される学びの姿や生活の姿を保障できる教員、ともに学び成長できる教員、管理的だったり上から目線ではない教員（教員研修の充実）
- ・教員に加えてSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）、特別支援教育支援員、SS（スクールサポーター）やボランティアなど

7 地域との連携

- 例 ・体験的な学びや探究的な学び（軽井沢学）に関わる大人との交流
- ・探究的な学びや部活動等課外活動に関わる高校生との交流